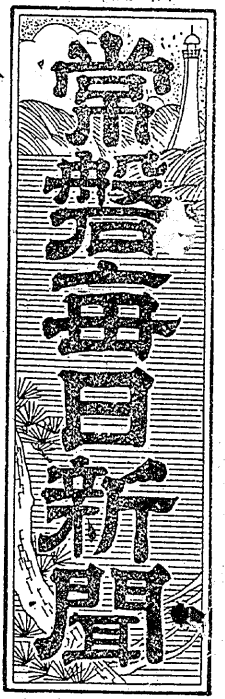


刊夕日六十月一十



定価 一部金... 発行所 常磐毎日新聞社... 印刷所 常磐毎日新聞印刷局

没我の偉大さ

國村 辻 人

更に勝海舟を相手に江戸城明渡しに至難な談判を済まして、いざ解散といふ時に南洲翁の姿が見えなくなつた皆が心配して探ねまはすと、長廊下の處に上を仰いで一人才立しながら「あまり立派な針隠しぢやて、思はず、見とれて居りました」と呵々大笑したといふことである。心根を削るほどの難談判の直後に、この没我的な心の餘裕は實に驚く外はなく、又翁の面目を最もよく生地のみで表はして居る。それが、少しも作つて居らず、自分の偉さも忘れてゐるやうな紳々なる處は、殆ど底の知れない偉大さである。おれは、おれは」と、始終自意識や已惚れで固つて居る人と比べると、宵壤の差である。自分の偉さも知らずに居る、それがいよゝ其の人の偉さを高める。さういふ人が古來東西に少くはない。シエークスピアなども恐らくさういふ没我的天真をもつた人であつた様に思はれる。我が近松巢林子なども、さういふ人たりの人であつたらう。良寛和尚なども自分がそれほど偉い特徴をもつた人であるといふこ

とは恐らく氣付かないで居たことであらう。忘我の天真にかへつて、子供を相手に毬をついてゐた、良寛を思ふ時、われらはいよゝ其の氣高さに打たれる。俳人一茶なども、自分の偉さを忘れ又は氣付かずに居た人であらう。淺草の夏目成美の家で久振りに風呂に入つて貰つて、手拭を持ち合せないので風呂敷で座敷へ歸つて来た一茶の顔は、赤、青、紫など、まるで五色の色どりであつた。それを皆に笑はれても平氣で「なるほど、五色の顔ぢやつたか、それは」と云つて高らかに笑つてゐたといふことがある。天真の童心のまゝである。後生芭蕉翁と並び稱せられるやうな自分であることを彼は夢にも思つたらうか。又背の高いおさがりの着物を貰つて、自分には長すぎるとい

【朝】みそ汁 小松菜もみ豆腐

【晝】にしめ くらゐ 八つ頭半平べん

【晚】ポイルドビーフ 湯煮、牛肉、玉ねぎ ホワイトソース

【三碧】金談縁談等皆進で吉利を得る日但し猛進は凶東西凶【四緑】古きを捨て新企の件に進は吉利あり但し病氣怪俄に注意して未申丑寅凶【五黄】勞して功なき不平の事多く爲に我身立目下の者の心配起る日水火の難に注意して西北凶【六白】營業取引に利を得る日又公事官所の心配もあれば水火の難にも注意南北凶【七赤】新企の件に利を得る日然し病氣怪俄紛失に注意未申丑寅凶【八白】長男長女の件より家内に不和を引起す事あれば和順以て交際すべし未申丑寅凶【九紫】金錢問題より爭論を引起し絶交の事あれば萬事和順吉戌亥と辰己凶

【朝】みそ汁 小松菜もみ豆腐

【晝】にしめ くらゐ 八つ頭半平べん

【晚】ポイルドビーフ 湯煮、牛肉、玉ねぎ ホワイトソース

【三碧】金談縁談等皆進で吉利を得る日但し猛進は凶東西凶【四緑】古きを捨て新企の件に進は吉利あり但し病氣怪俄に注意して未申丑寅凶【五黄】勞して功なき不平の事多く爲に我身立目下の者の心配起る日水火の難に注意して西北凶【六白】營業取引に利を得る日又公事官所の心配もあれば水火の難にも注意南北凶【七赤】新企の件に利を得る日然し病氣怪俄紛失に注意未申丑寅凶【八白】長男長女の件より家内に不和を引起す事あれば和順以て交際すべし未申丑寅凶【九紫】金錢問題より爭論を引起し絶交の事あれば萬事和順吉戌亥と辰己凶

【朝】みそ汁 小松菜もみ豆腐

【晝】にしめ くらゐ 八つ頭半平べん

【晚】ポイルドビーフ 湯煮、牛肉、玉ねぎ ホワイトソース

【三碧】金談縁談等皆進で吉利を得る日但し猛進は凶東西凶【四緑】古きを捨て新企の件に進は吉利あり但し病氣怪俄に注意して未申丑寅凶【五黄】勞して功なき不平の事多く爲に我身立目下の者の心配起る日水火の難に注意して西北凶【六白】營業取引に利を得る日又公事官所の心配もあれば水火の難にも注意南北凶【七赤】新企の件に利を得る日然し病氣怪俄紛失に注意未申丑寅凶【八白】長男長女の件より家内に不和を引起す事あれば和順以て交際すべし未申丑寅凶【九紫】金錢問題より爭論を引起し絶交の事あれば萬事和順吉戌亥と辰己凶

【朝】みそ汁 小松菜もみ豆腐

【晝】にしめ くらゐ 八つ頭半平べん

【晚】ポイルドビーフ 湯煮、牛肉、玉ねぎ ホワイトソース

【三碧】金談縁談等皆進で吉利を得る日但し猛進は凶東西凶【四緑】古きを捨て新企の件に進は吉利あり但し病氣怪俄に注意して未申丑寅凶【五黄】勞して功なき不平の事多く爲に我身立目下の者の心配起る日水火の難に注意して西北凶【六白】營業取引に利を得る日又公事官所の心配もあれば水火の難にも注意南北凶【七赤】新企の件に利を得る日然し病氣怪俄紛失に注意未申丑寅凶【八白】長男長女の件より家内に不和を引起す事あれば和順以て交際すべし未申丑寅凶【九紫】金錢問題より爭論を引起し絶交の事あれば萬事和順吉戌亥と辰己凶

【朝】みそ汁 小松菜もみ豆腐

【晝】にしめ くらゐ 八つ頭半平べん

【晚】ポイルドビーフ 湯煮、牛肉、玉ねぎ ホワイトソース

【三碧】金談縁談等皆進で吉利を得る日但し猛進は凶東西凶【四緑】古きを捨て新企の件に進は吉利あり但し病氣怪俄に注意して未申丑寅凶【五黄】勞して功なき不平の事多く爲に我身立目下の者の心配起る日水火の難に注意して西北凶【六白】營業取引に利を得る日又公事官所の心配もあれば水火の難にも注意南北凶【七赤】新企の件に利を得る日然し病氣怪俄紛失に注意未申丑寅凶【八白】長男長女の件より家内に不和を引起す事あれば和順以て交際すべし未申丑寅凶【九紫】金錢問題より爭論を引起し絶交の事あれば萬事和順吉戌亥と辰己凶

ノート

ニッケル類の磨き方は漆喰にアンモニアを注ぎ布につけてなすりつけ乾いた處を布で拭き取る。ふので、勝手から庖刀をもつて来てその裾を切つて、綿のはみだしたまゝ着て、「これなら長い物に巻かれ

俺が」が鼻の先にぶらさがつて居る畫家や、俳優や、學者や、爲政家が有象無象と群居して居る時代に於ては、自分の偉さを超越してゐたやうな没我的偉人がしみじみと戀しくならざるを得ない。

十一月十七日丁亥一白友引
【一白】沖中の小舟の如く此の一件は河岸へ着け様かと迷心の起る凶日なれば萬事控目が肝要【二黒】我が目的に奔走すると雖もいすかの嘴の食ひ違と云ふ事あれば遠行は凶辰己と戌亥凶
【三碧】金談縁談等皆進で吉利を得る日但し猛進は凶東西凶【四緑】古きを捨て新企の件に進は吉利あり但し病氣怪俄に注意して未申丑寅凶【五黄】勞して功なき不平の事多く爲に我身立目下の者の心配起る日水火の難に注意して西北凶【六白】營業取引に利を得る日又公事官所の心配もあれば水火の難にも注意南北凶【七赤】新企の件に利を得る日然し病氣怪俄紛失に注意未申丑寅凶【八白】長男長女の件より家内に不和を引起す事あれば和順以て交際すべし未申丑寅凶【九紫】金錢問題より爭論を引起し絶交の事あれば萬事和順吉戌亥と辰己凶

内科、小兒科、花柳病科

藤沼 醫院

入院應需

御一家榮養保健は常に御主婦方のお心がけから!!

滋養、消化、強精の! 三大効果を營む...

榮養 專美特許 **米の母** を保健 保健康

お勧め致します「米の母」こそ長命壽齡の秘薬にして特に御子様には必順薬であります。

薬價低廉 五十銭

小野屋薬舗 平・四電一四四

新流行シヨール

今冬の流行を代表する斬新な柄.....

ツルヤ

平四・電話一四〇番

東洋

鈴木傳明 主演

夏川静江

監修 牛原盛徳 演出 鈴木傳明

如花近山路 山本 一井田山 木染村本 禮四邦嘉 二郎男一 演 助

月井松子 玲蘭里子 子子子

十六日ヨリ

日活大映 政大映 東大映 大映 大映

ホーナムー井一 監製版

大規模な來年度の土木事業豫定

平町の舗装道路や

尼子鎌田の兩橋架替其他 郡内の重要工事悉く網羅 監督所から申請

平土木監督所では明九年度施行豫定の管内各種土木事業に就いて

調査中

であつたが今回全部の調査を終り昨日縣に向つて申請した夫れに依ると工費總額九十三萬圓、使用延人員四十萬人と云ふ大規模に亘り先づ橋梁掛替は豫定懸案の尼子橋を始め鎌田橋、六十枚橋外十橋で廿七萬圓、道路側溝指定は平、小名濱、湯本、勿來等で五萬圓道路改良は平町の古鍛冶踏切道路外

圓、道路舗装は平町の千五百米四萬圓、町村補助工事としては豊間、江名、小濱各漁港の修築に廿萬圓、町村工事の補助額は平町外二ヶ所に四萬圓、管内道路八十里の維持修繕費として五萬圓等を計上してあり何れも緊急を要する工事の事として縣土木課の容認如何は

各町村の最も注目する所

あり達成を翹望する地元の猛運動は縣會目掛けて勃然と括頭する模様である

鮫川水利

議員改選

町村議以上の

猛烈な競争戦

既報鮫川堰普通水利組合議員の選挙は關係町村の小名濱、植田兩町外泉、上野野、玉川、渡邊各村役場下町十

五日一齊に執行されたが議員定員二十四名に對して三十四名の立候補あり町村會議員選挙以上の猛烈な競争

を演じ開票の結果當選者左の如く決定した (泉村)小林誠次、佐藤長久、上野野豊次郎、上野野定治郎、江尻源孝(上

増炭計劃に

無理の有無を

仙台監督局が調査

石城地方の各炭礦は重工業の活況と併せて需要期に入り出炭能率を高めて増炭に増炭を重ねて居るので仙台鐵山監督局では各礦に技師を派遣して生産方法の無理から起る事態の發生防止に努める事になつた

米國へ贈物

既報米國圖書手藝品 國の少女赤十字團にクリスマスにプレゼントの書方兩童を決定した平第二小學校では本日圖書及び手藝品の製作兒童を左の如く決定したが之等の贈物は明日發送すると (圖書)一氣丹野トヨ子、

圖書出陳兒童

平第二小學校では来る二十五、二十六の兩日白河第三小學校に於いて開催される縣南各小學校兒童圖書展覽會に左の生徒の圖書を出陳する

遠野)永瀬幸太郎(植田)古川傳一、鷺清昇、佐川龜太郎、古川慶福(小名濱)小野普平、小濱長太郎、飯塚榮一郎、齋藤定治郎(玉川)箱崎伊勢松渡邊大、渡邊渡、富岡藤次、新妻恒治郎(渡邊)大平定吉、永山定男、高木己之吉、遠藤實太郎

兒童教育の

平第二研究同人會 小學校職員一同は此程兒童教育の理論及び實際を研究する爲め津田校長を顧問に推戴し兒童教育研究同人會を組織したが今後は毎月二回宛例會を開くと

演習注意

兩校生徒に

既報警中對平商の發火演習は愈々明日より二日間舉行されるので本日兩校共講堂に生徒一同を集め各係教官が左の如き注意を發したが若し明日雨天の際は順次繰延する由

- 一、職員及演習部隊は明日午前七時半迄に運動場東南大隊横隊に集合し統監部の指示を受くべし但し第一學年ば兒童部隊とし學級主任の指揮を以つて演習部隊の行動に續行し統監部の指揮に依り見學すべし
- 二、服装及携行品第四、五學年は武裝、水筒、畫食及所要地圖、筆記具携行、第二、三學年は平常野外教練の服装に同じ成るべく革製靴を使用すべし
- 三、第一日は地方に宿泊せず各自宅に歸るものとす
- 四、第二日は午前八時迄運動場に集合すべし

平町人事 市原醫院 平町田町 電話一四四番

外科 醫學博士 渡部 義夫
小兒科 女 醫 渡部 きい子
内科 渡部 外科

貸切の御用命は!!! 獅子吼(四四九ノ勢) 眞先ニ (マツサキ) 三九二タクシーへ!!!

中村齒科醫院 平町 鍛冶町七

玉屋洋品店 平町通電話五六六番

平町は女護の島

男子よりも其数が多い

各種職業別

警女生火災

全部で廿八件

平町役場で去る十月一月現在
の平町人口を調査した處
によると男子は一萬三千四
百四十九人、女子が一萬四
千二百九人で女子の方が七
百六十人多く総人口二萬七
千六百五十八人(四千八百
廿七世帯)であるが此の職
業別は左記の如くである

種別	男	女
工業	一、三三	四、五
商業	一、九四	七、三
交通	五、二	三、六
公務事由業	八、三	二、九
家事使用人	三、三	二、二
其他	九、九	八、二
無職	七、六三	一、二四六

警城高等女學校では今回の
防火宣傳デーに際し全校生
徒八百名の家庭に火災件數
を調査したが左の如く全部
で三十八件である

警中平商及び第一小學校で
は從來校旗、國旗、並に長
上に對する喇叭吹奏禮式は
陸軍省所定の喇叭譜に依り
行つたが此程陸軍省より差
支ある旨の通牒に接したの
で今後は陸軍省山學校軍樂
隊が制定した曲譜に類似し
た樂譜に依り行ふ事になり
目下練習中

入營の門出に

神前に奉告

終つて送別會

平町本年度の各兵科入營者
三十名は既記の如く来る廿
一日より明年六月迄に夫々
出發するので平町役場では
来る廿日午前九時より縣社
子歛倉神社に於いて入營兵
報告祭を執行し午前十時か
ら聚樂館に於いて一般來會
者と共に盛大な送別會を行
ふ事になつたが會費四十錢

辯論音楽

併せて大會

平商の準備

平商辯論部では来る十二月
六日同校講堂に於て音楽部
と合同し大會を開催する爲
め目下中村係教諭指導の下
に準備中であるが今年は部

泉村火防夜警

泉村
火防組會では来る廿日午後

ラツパ吹奏

警中で變更

警中平商及び第一小學校で
は從來校旗、國旗、並に長
上に對する喇叭吹奏禮式は
陸軍省所定の喇叭譜に依り
行つたが此程陸軍省より差

片倉の仲村事務長

岩手縣是に榮轉す

片倉警城製糸工場長仲村吉
郎氏は今般盛岡の岩手縣是
の事務長に榮轉され来る二
十日平發午前八時十九分
赴任されるが後任は岩手縣
是の今井岩根氏であるとい

放火犯逮捕の

警官に表彰状

平署の刑事部長安藤八百吉
及び巡查部長圓通重一兩氏
刑事草野高志、大谷次男、
金澤昌司、柏木萬吉の各氏
は過般平町の放火犯人伊藤
喜一郎の檢舉に際し苦心捜
査に當つた功勞に依つて本
十五日渡警察部長より金一

家族を連れて

ブラヂル移民

江名町馬目林之助氏同く堀
傳之助氏等は豫てより縣海
外協會の選抜により五名宛
の家族を連れブラヂル移民

明日のラジオ
十七日
今晚の部
後六、〇〇(子供の時間)
お話し「無電の父マルコニ」
先生「柚木卯馬」
後六、二五 英語講座(四)
後七、三〇 講義「故上原」
元師を徳ぶ「陸軍參議官」
陸軍大將渡邊錠太郎
後八、三〇 義太夫「三十」

今晚の部
後六、〇〇(子供の時間)
お話し「無電の父マルコニ」
先生「柚木卯馬」
後六、二五 英語講座(四)
後七、三〇 講義「故上原」
元師を徳ぶ「陸軍參議官」
陸軍大將渡邊錠太郎
後八、三〇 義太夫「三十」

基礎英語講座
前七、〇〇 基礎英語講座
(二十九) 岡倉由三郎
前九、一〇 料理献立
前一一、〇〇 家庭モテ
前一二、〇〇 家庭講座
後一〇、〇五 獨唱と合唱
獨唱 平原壽恵子、ピアノ
伴奏 豊増昇、合唱 東京音
樂學校生徒、指揮 大塚淳
後二、〇〇 家庭大學講座
「家庭教育の振興」(四)
母親の權威 塚原政次
後二、五〇 ラクビー試合
實況「商大對法政」ラクビー
「戦」明治神宮より中継
後五、三五 受験講座「英

文解釋「佐川春水」
後六、〇〇(子供の時間)
お話し「話のお取次」平塚
運吉
後六、二五 基礎佛語講座
(十八) 目黒三郎
後七、三〇 講演「日本と
歐米の醫學に就て」名古屋
屋醫科大學教授醫學博
齋藤眞
後八、〇〇 謠曲「鬼界ヶ
島」針生惣吉外
後八、三〇 マルコニ候爵
歡迎會實況
後九、〇〇 晩畫物語「一
しき天」鈴木利夫

實生流大會

能樂師三名を

宗家より招く

平、湯本、四倉、内郷の各
實世流諸曲俱樂部では来る
十九日午前九時より湯本町
入山俱樂部に於て宗家より
能樂師佐野巖、石川龜章、
前田八十治の三氏を招き大
會を催すが各俱樂部の番組
は左の如く尙終了後午後七
時より湯本町松栢館に於て
佐野巖氏の隅田川、平住吉
屋支店に於て石川龜章氏の
高野物狂、殺生石等の稽古
があるとい固に會費は三十錢
で一般同好者の來會を歡迎
する由

山口教諭出發

既報

明日より二日間安積高女に
於て開催される縣下高等女
學校地理科研究會に出席す
る警女山口教諭は明朝平發
五時四十二分で出發すると

平職業紹介所報告

回人を求める方

△農夫 三十迄 委細面談
(鹿島村某)

△小店員 十五迄 尋卒
仕着小遣(平町某)

△雜役 二十前後 尋卒
月十圓(平町某)

△豆腐賣子 三十迄 尋卒
給料歩合(平町某)

△豆腐賣子 三十迄 尋卒
給料歩合(平町某)

△豆腐賣子 三十迄 尋卒
給料歩合(平町某)

△豆腐賣子 三十迄 尋卒
給料歩合(平町某)

看護婦急派 の求めに應

じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七番

平町南町
電話三〇七番
平看護婦會

平町南町
電話三〇七番
平看護婦會

平町南町
電話三〇七番
平看護婦會

銘劍秘刃録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第九十一回

血に飢ゆる村正

屋根から屋根へ
夫から次郎左衛門は村正の一刀を携へて仲の町に再び出ました處がモウ廊内一統知らざる者はなく、各々皆表を閉し、或は屋根に登り何れも各々の家の守護を嚴重に致し、内へ立入らざる様に守護をして居ります大門は閉めて了ひ待合の辻の處へは壘を横にして積重四斗樽へは冷水を吸んで後ねへ並べ一方には町内の若衆で一器量ある者は各々得物を持つて町内を護りました事に於て若し此町内に入れば叩きのめて呉れやうと各々町々を固めて居ります、次郎左衛門も仲の町へ出ると四面を嚴重に圍まれて了ひましてワイ／＼聲を揚げられたに依つて是れが爲めに逆上して眼は釣り上り、顔は蒼くなり、下唇は喰込んば物をも云はないで炎の様なる息を吐きながら、彼方此方を彷徨てゐるが流石に刃物を持つて居りますから誰も傍へ近寄る者はございませぬ、其内に二階に上り、二階の窓から物干へ登つて屋根棟へ上りました、甲「ヤ、那方へ出やアがつた、次郎左衛門の野郎叩



しやがつたか……梯子を持つて来い、梯子を持つて来い」と云ふ内に大勢で梯子を持つて来て、軒先の處へかける、總て此の遊女屋といふものは棟が至つて、高ふございまして、四間三尺の梯子といふものは此の時分にはございませぬ、皆三間梯子だからいくつもそれを繋ぎ合せては餘り長過ぎるから三間梯子の短かいのを繋いでさうして軒先の處へそれをかける、次郎左衛門は屋根の底近く出て屋根板から其内に此方でも工夫を考へて

甲「何でも此奴ア次郎左衛門が梯子へ手をかけやアがつたらかまはねえぞいと梯子を諸に立て終ひ諸に立てられると屋根との縁が切れちまアから梯子の上に次郎左衛門がブラ下るだらう」

乙「それじゃ險難だ、上からあの拔身でも放られやうもんなら大變だ」

甲「處がさうでねえ、屋根へ縁を離して置いて梯子と一所に頼り返し倒れた所へ乗懸つて捕縛めえて仕舞ふんだ」

一同「ウム、其が宜い」

と梯子を元の通り掛ると又も次郎左衛門をその手を懸るのを此方は追々手練をしたもんだから、七八人ヤ／＼と聲を揚げて諸に梯子を立てた

×「占めた……ソラ此方を向いた、ソラ此處で那奴を落されちやア堪らねえ」

一同「梯子をねかせ……」

と云ふ内に突つ先が傾いた途端に江戸町三丁目の方から致して一丁目の傍へバツト飛んで仕舞つた、只今と違つて仲の町は至つて道路が狭うございましてから斯う長く繋いだ梯子で有つて見ると那方から此方へ飛ぶ事は出来ませぬ、其には鞍馬八流劍術の奥儀を極めた次郎左衛門、都築先生も惜しい事で心が心なら御指南番にも成れべき者と仰しやつた位で業は出来て居ります且其刀劍は勢州桑名の住人仙吾妙臺尤も多七明

から其内に此方でも工夫を考へて

甲「何でも此奴ア次郎左衛門が梯子へ手をかけやアがつたらかまはねえぞいと梯子を諸に立て終ひ諸に立てられると屋根との縁が切れちまアから梯子の上に次郎左衛門がブラ下るだらう」

乙「それじゃ險難だ、上からあの拔身でも放られやうもんなら大變だ」

甲「處がさうでねえ、屋根へ縁を離して置いて梯子と一所に頼り返し倒れた所へ乗懸つて捕縛めえて仕舞ふんだ」

一同「ウム、其が宜い」

と梯子を元の通り掛ると又も次郎左衛門をその手を懸るのを此方は追々手練をしたもんだから、七八人ヤ／＼と聲を揚げて諸に梯子を立てた

×「占めた……ソラ此方を向いた、ソラ此處で那奴を落されちやア堪らねえ」

一同「梯子をねかせ……」

と云ふ内に突つ先が傾いた途端に江戸町三丁目の方から致して一丁目の傍へバツト飛んで仕舞つた、只今と違つて仲の町は至つて道路が狭うございましてから斯う長く繋いだ梯子で有つて見ると那方から此方へ飛ぶ事は出来ませぬ、其には鞍馬八流劍術の奥儀を極めた次郎左衛門、都築先生も惜しい事で心が心なら御指南番にも成れべき者と仰しやつた位で業は出来て居ります且其刀劍は勢州桑名の住人仙吾妙臺尤も多七明

神の社内にて於いて鍛へたる村正の一刀……是に由つて向ふの屋根へ移ると

△「ヤ、此方へ来やがつた……」

といふ中に向ふの屋根で見て居た奴が次郎左衛門が飛んで来たから大きに驚き互に押されてド、ド、と上から落ちた、其内次郎左衛門又々屋根から屋根へと傳ひ来て廂から往來へバツト五体を縮めて飛下りました、降りた途端に横に棒をもつて拂つて来た者がある、丸裸で切立の禪に鬱金木綿の腹巻きを確乎と巻いて中へは守も入つて居る、芥子玉の手拭を後鉢巻をして男「ヤア此の畜生……乃公ア番屋の久太てえもんだ」と、見た所は恐ろしく強さうだ。

金銀高價買入

各國：時計：眼鏡：貴金屬
御修繕は専門の當店へ

根本時計店

平・二（電話六〇七番）

完全燃焼の爲め
煙筒掃除の要無き
本日一の
フクロク、ストーブ

御申越次第カタログ持參
御伺ひ致します

平町五丁目
釜屋商店
電話 九番

發賣元

平町前
阿部石炭商店
電話 三七番

最優等賞
於福島縣第九回清酒品評會

優等賞
於東北六縣第六回清酒品評會

濱三郡特約店
永山酒店
平・田町 電話二〇七番

美味！
芳醇！

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番